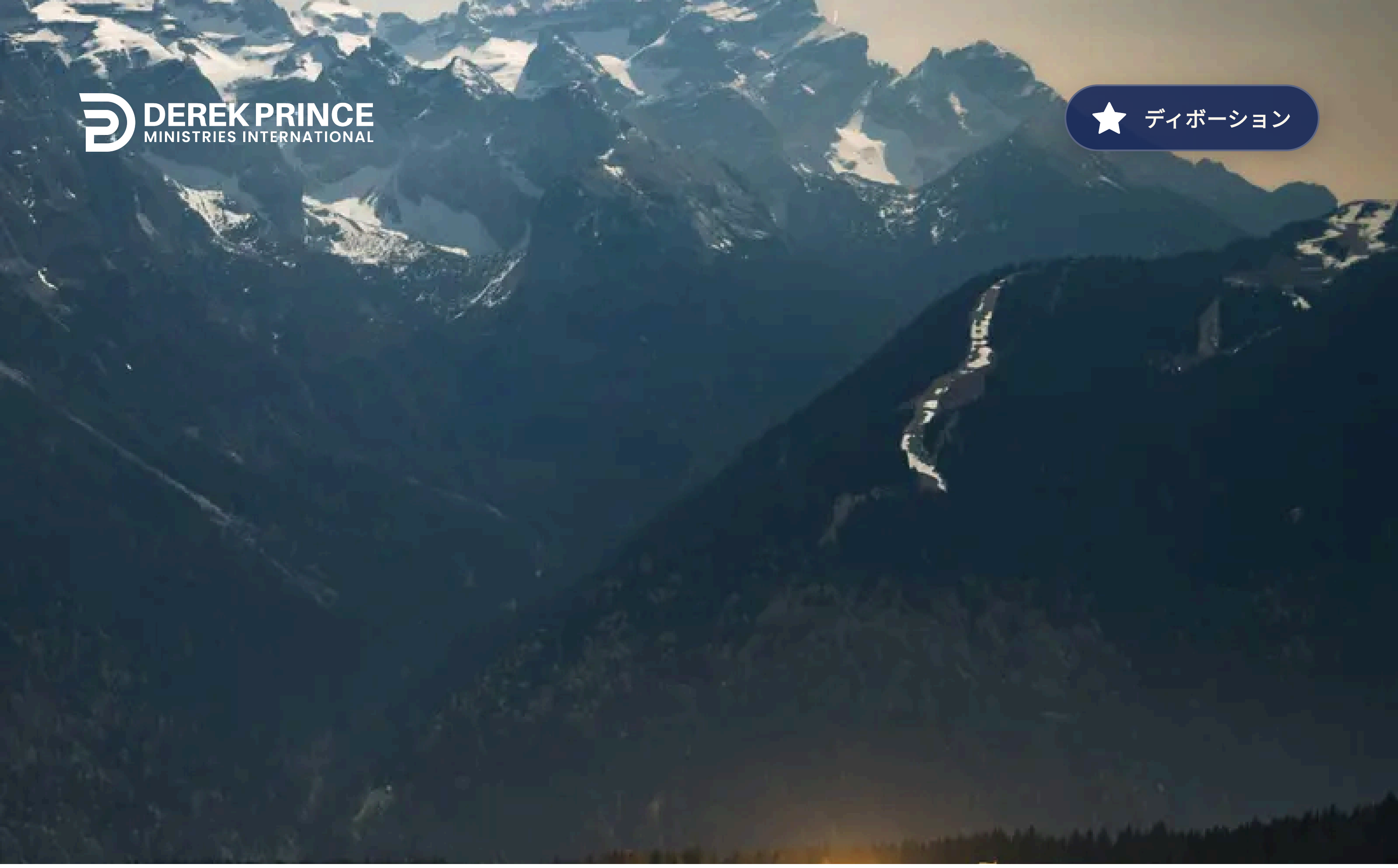




DEREK PRINCE MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

恵みと愛をもって

愛のうちに、私の父は私を彼の息子または娘として養子にすることを予定されました。

日 1970/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

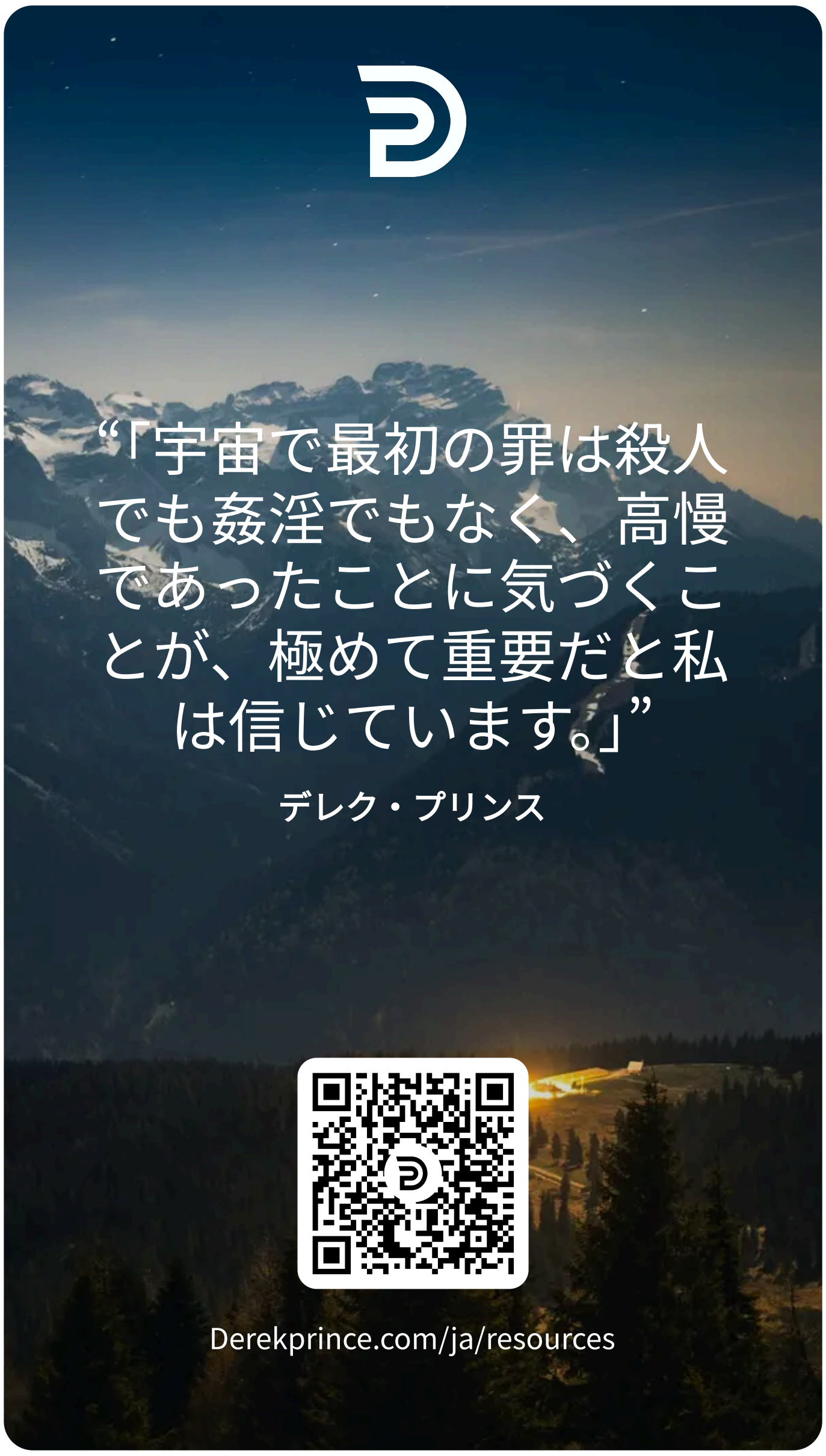
> 神は…私たちを選び…みこころの良しとするところにしたがって、あらかじめ定めて私たちをイエス・キリストによってご自分の子としてくださいました。それは、神がその愛する方にあって私たちを受け入れることによって、神の恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。（エペソ１：４－６，NKJV）

「愛する方」とは、イエスのことです。この順序に注目してください。私たちは選ばれ、あらかじめ定められ、神の子とされ、受け入れられました。現代翻訳では、「受け入れられた」という語は使われていません。「神が…私たちを受け入れ」は、ギリシャ語では、「神が私たちに惜しみない恵みを授けてくださった」という意味です。また、御使いガブリエルは、マリアに挨拶してこう言いました。「おめでとう、恵まれた方」（ルカ１：２８）。この「恵まれた」も、エペソ人への手紙のギリシャ語の「受け入れる」と同じ語です。私たちは神から容認されただけの者ではありません。傍観者ではありません。それどころか、私たちは神の大いなる恵みの対象なのです。そのことを信じますか。驚くべきことです。

私が考えるに、不安感は拒絶の問題と直接的なつながりがあります。解決法は、神の家族に入れられることです。神は決して変わることのないお方です。神は愛です。神はご自分の子どもたち一人ひとりを、みな愛しておられます。神に二流の子どもはいません。あなたが神の子どもであるなら、中に入れてもらえることを願いながら恐る恐る近づいて行って、神のドアをノックする必要はありません。神は両手を広げてあなたを待っておられます。

父なる神さま、私があなたの子どもとされていることを感謝します。私を選んでくださったことは、あらかじめ定められていたことであり、私は受け入れられ、恵みを受けていると宣言します。神さまは私に全面的に恵みを注いでくださっています。神さまは愛をもって、私を息子、娘として私をあらかじめ定めてくださっていました。アーメン。

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク



ディボーション ★
原稿: WD-B097-239-JPN
最終更新日: 05 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク